

## 大阪府がん診療拠点病院と

## NST 稼働施設に認定されました。

去る 2011 年 4 月 1 日に、当院は、大阪府のがん診療拠点病院に承認され、また NST 稼働施設にも認定されました。今後もいっそう質の向上をめざしてゆきたいと思えます。



## 呼吸器内科を 4 月より新設いたしました。

『咳や痰が増えたり、動くと呼吸がしにくいのを年のせいにしていませんか?』

気管支喘息や COPD 等の診断と治療及び管理を、他診療部門や地域の先生と連携して行っています。常勤医 1 名、非常勤医 2 名の体制で運営しています。呼吸器疾患全般について取り扱っていますので下記参考に外来ご予約のほどよろしくお願ひいたします。

外来担当表	月	火	水	木	金	土
午前	---	伴	浅井	---	伴	---

## 第13回 東住吉ハートカンファレンス

去る2011年2月26日に、東住吉森本カンファレンスを開催しました。第13回目となる今回は急性心筋梗塞、不整脈治療、高血圧ガイドラインの話と多彩なテーマで話題が提供されました。当院からは、循環器内科藤田先生から若年発症急性心筋梗塞について報告がありました。若年者の急性心筋梗塞リスクファクターとしてBMI値増加や、高脂血症罹患、喫煙、家族歴などが挙げられ、それらの管理が必要であること、また地域連携PATHの重要性が述べられました。また循環器内科金森先生からは、不整脈における心房粗動の治療について解説がなされました。3次元マッピングを用いた不整脈回路の同定について、加えてその回路に対するアブレーション治療の解説がなされ、その利点などが述べられました。また、特別講演として大阪大学名誉教授・大阪府立急性期・総合医療センター院長 荻原先生より 高血圧治療ガイドライン2009（JSH2009）の解説が行われました。診察室血圧をベースとした脳心血管リスクの層別化、家庭血圧などもベースにした降圧目標、治療薬剤の選択など充実した内容でした。



## 第17回東住吉森本病院 ICLS コース研修会

去る2011年2月27日に、第17回東住吉森本病院 ICLS(Immediate Cardiac Life Support) コース研修会を開催しました。ICLSとは「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした医療従事者のための蘇生トレーニングコースを指し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術やチーム医療を身につけます。これまでも医師、看護師、救急救命士だけでなく、理学療法士、薬剤師、放射線技師、救急隊員、消防士など様々な医療関係者が受講しています。当日は、コースディレクターに南大阪病院より新藤光郎先生をお迎えし、充実した内容での研修となりました。(当コースは大阪府医師会、日本救急医学会からの認定を受けています。)



## 第3回 東住吉内視鏡ネットワークカンファレンス

去る2011年2月5日に、東住吉内視鏡ネットワークカンファレンスが開催されました。第3回目となる今回は消化器内視鏡に関する勉強会でした。当日、消化器内科からは、松山先生より、“異なる原因で下血をきたした救急搬送患者”に対し、緊急内視鏡後、消化器外科と連携した症例が報告されました。消化器外科からは、金沢先生より、当院の腹腔鏡下大腸切除術についての症例報告に加え、術中出血量の少なさ、手術時間の短縮、術後整容性の向上などの特徴について紹介がありました。特別講演では、大阪府立急性期・総合医療センターより西山先生が、早期食道胃癌・胆膵内視鏡治療の現状と展望について発表され ERCP、ESD、EMR についてテクニカルな解説を豊富な内視鏡画像で紹介されました。



## 第3回 心血管疾患発症予防を考える会

去る2011年2月24日に、心疾患発症予防を考える会を開催しました。第3回目となる今回は、地域医療機関の先生方を対象に、動脈硬化・心臓病予防連携パスの紹介と特徴、その運用について取り上げたところ、多くの先生にご参加いただきました。当日は当院心臓血管センター・循環器内科・坂上部長から、“糖尿病や耐糖能異常を持たれ心筋梗塞や脳卒中を起こしてしまう可能性を持った患者さん”について当院で行える検査や、その治療介入について説明がありました。



## TOPICS

# 平成 23 年度 入社式および新入職員研修会開催

去る 2011 年 4 月 1 日に入社式を開催しました。本年は総勢 70 名（法人全体 87 名）が、入職し、当日は、理事長、副理事長、院長はじめ役員が祝辞を述べ、新入職員を激励しました。続く研修では、各部門の概要や人事制度、感染予防、医療安全について、診療録の記載、病院倫理、医療安全等のテーマに沿ってレクチャーがなされたほか、接遇マナーやコミュニケーション技術等も学び、医療の現場を実感されたことと思います。当初は緊張した面持ちの新入の皆さんも、後半には笑顔も見られ、和気あいあいとした雰囲気の中二日間の研修を終えました。



## 大同大学より病院見学

去る 2011 年 2 月 9 日に韓国は大同大学よりメディカルツーリズムを勉強されていたる学部の皆さんが当院の施設を見学をされました。先方の教授先生が、日本語堪能で日本語でも説明が難しい DPC を初め日本の医療制度や急性期病院の運営体制、施設設備の説明など同時通訳され、とても有意義な情報提供が出来たのではないかと思います。

帰国後も是非この体験を生かしていただきたいものです。



## 編集後記

広報室 M

去る 2011 年 4 月 24 日東大阪市民会館にて大阪府医師会交響楽団の演奏が行われ、当院からは病棟看護師の森さんがバイオリンで、副院長の田中宏先生が指揮者として参加されました。

演奏曲目としては

ウエーバー 魔弾の射手 より序曲  
モーツァルト バイオリン協奏曲 5 番  
ベートーベン 交響曲 第 8 番

などが演奏され、”とてもかっこよかった！”とがん登録担当のスタッフから報告を受けました。院内でも特に多忙を極める副院長ですが、音楽家としての活動も半端ではないようです、見習わねば！！

\*東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。

<http://www.tachibana-med.or.jp>



当日指揮者で参加された  
副院長・田中宏先生